

第28回地域バス交通活性化セミナー コロナ後の大都市域における 路線バス網リデザインの必要性と方策

日時：令和6年10月28日（月） 13:00～16:10（12:30受付開始）
会場：文京区シビックセンター スカイホール（東京都文京区春日1丁目16番21号）
主催：一般社団法人東京バス協会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
後援：関東運輸局（申請中）
定員：会場100名、オンライン300名（定員になり次第締め切ります）
参加費：無料

【プログラム】

- 13:00 開会挨拶 公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 理事長 門野 秀行
- 13:05 来賓挨拶 国土交通省 関東運輸局長 藤田 礼子氏
- 13:10 基調講演 「運転者不足を踏まえた路線バス網リデザインの方向性
～大都市域に期待される公共交通サービス実現へ～」
名古屋大学大学院 環境学研究科 教授 加藤 博和氏
- 13:50 講演 「ポストコロナと2024年問題の現実化への東京のバス業界の対応」
一般社団法人東京バス協会 理事長 濱 勝俊氏
- 14:20 事例紹介 「デマンドバス⇄路線バス乗り継ぎの仕組み～さいたま市の運行事例～」
国際興業株式会社 商事部交通事業担当 上席主任 河村 奏女氏
- 14:30 事例紹介 「中野区における地域公共交通に関する取り組み」
中野区 都市基盤部 交通政策課長 宮澤 晋史氏
- 14:45 事例紹介 「ムーバスに学んだ地域公共交通」
関東バス株式会社 取締役会長 内藤 泉氏
- 15:00 休憩
- 15:10 パネルディスカッション
「コロナ後の大都市域における路線バス網リデザインの必要性と方策」
パネリスト：中野区 都市基盤部 交通政策課長 宮澤 晋史氏
関東バス株式会社 取締役会長 内藤 泉氏
一般社団法人東京バス協会 理事長 濱 勝俊氏
国際興業株式会社 商事部交通事業担当 上席主任 河村 奏女氏
国土交通省 関東運輸局 交通政策部長 落合 裕史氏
コーディネーター：名古屋大学大学院 環境学研究科 教授 加藤 博和氏
- 16:10 閉会

参加申込：エコモ財団ホームページよりお申し込みください。（定員になり次第〆切）
（<https://www.ecomo.or.jp/environment/bus/index.html>）

申込フォーム



【開催趣旨】

地域住民の生活を支える移動手段として、乗合バスは重要な役割を担っています。しかしながら近年の人口減少や新型コロナウイルスの影響による利用者の減少による運賃収入の減少、さらには運転士不足などの問題を抱えています。

地域住民の生活を支える移動手段として乗合バスは重要な役割を担っていますが、近年の運転士不足問題により減便や路線の変更、さらには廃線が多くなっており、これといった問題は地方部や山間地だけでなく、大都市部でも起こるようになり始めています。

一方そういった背景のもと、ここ数年は都内でもオンデマンド乗合交通の運行が試行されるようになの取り組みが始まっており、その導入のあり方についてよく検討することができていますが、自治体と交通事業者だけでなく、地域住民や企業も協働し工夫をして取り組む必要があります。

これらの背景を踏まえ、今後の大都市部における移動しやすい環境づくりの進め方、そして公共交通バス利用者の促進やさらには住民などが移動しやすい環境づくりのため、試行錯誤先進的な取組みを参考に学び、乗合バス事業交通の今後のあり方維持方策について議論を行うためのセミナーを開催いたします。

会場アクセス（文京区シビックセンター シビックホール）



【会場までのアクセス】

東京メトロ丸ノ内線・南北線 後楽園駅
(5出入口) 直結

都営地下鉄三田線・大江戸線 春日駅
(文京シビックセンター連絡口) 直結

JR 中央・総武線水道橋駅(東口)

徒歩約 10分

※セミナーの趣旨から鉄道やバス等
でご来場下さい

問合せ先：公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団交通環境対策部（担当：岡本、内藤）
TEL：03-5844-6268 E-Mail：bus [at] ecomo.or.jp※送信時は [at] を@に変えてください